

「発表応募セミナー セミナー&個別相談会」 報告書



チャレンジ支援委員：嶋、藤田、鈴木、家根橋、黒田、佐藤、天野、松葉

2021年度日本語教育学会春季大会終了後の翌週(5/30)に9名(参加予約11名)の参加者をお迎えし、13時より2時間の「セミナー&個別相談会」を行いました。担当したチャレンジ支援委員8名、事務局1名で当日のイベントを進めていきました。当日個別相談に協力して下さったのは、5名のチャレンジ支援委員です。13時のスタート時点では、ほぼ全員の方が揃い、予定していたすべての内容を時間通りに進めることができました。

まずは、スタッフの自己紹介と流れを説明した後、応募要旨の事例紹介をしました。担当したのは、チャレンジ支援委員の家根橋さんと鈴木さん。持ち時間を有効に使い、実際に応募した時の資料に沿って説明していました。家根橋さんは、「どのように書いていったのか」「どんな点に注意をしていったのか」等を丁寧に説明、鈴木さんは、「オリジナリティ」と「バランス」というキーワードを提示し、「限られた字数の中でどんな点に気をつけたらいいのか」を分かりやすく説明していました。今回はオンラインの良さをうまく利用できたと思います。資料を画面上で共有し、ポイントを色で示したり、色分けしたりして工夫をされていた点は、参加者にとってとても分かりやすかったのではないのでしょうか。参加者のアンケートでも高評価を頂きました。

個別相談では、委員の皆さんに1時間という時間を有効に使っていただきました。

今回参加者の中には、過去に不採択になった応募原稿や研究概要などの資料を準備されていた方もいらっしゃって、どのグループも充実した相談会になったようです。そして、アンケート結果では「とても満足」80%、「まあまあ満足」20%と、とても良い評価を頂きました。また、事例紹介や



個別相談も「とても満足」「まあまあ満足」を合わせて100%で、参加して下さった皆さんから高評価を頂きました。イベントの最後では、次のおせっかい侍の企画を紹介しました。

日曜日の午後という時間帯でしたが、とても有意義な時間となりました。引き続きおせっかい侍は、皆さんのためにおせっかいな活動を続けていきたいと思っています。

これからもどうぞよろしくお願いいたします。

(文責：松葉)